



# 訓子府の子どもたち 各種大会で大活躍!!

## 小学生陸上全道大会 7人出場

北海道小学生陸上競技大会（オホーツク予選会）が、5月21日に北見市で開催され、7人の小学生が全道大会へ駒を進めました。  
6月26日には、清信宏斗さん（訓小6年）57人の部員が役場を訪れ、菊池町長に「全道大会で全力でがんばりたい」「記録を伸ばせるようにがんばりたい」などと、それぞれ全道大会の目標を話してくれました。



## 水泳ジュニアオリンピック

### 訓中・訓小5人が出場

「全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会北海道予選会」が7月15日、16日に江別市で開催され、訓子府小学校、中学校の児童・生徒5人が出場し、活躍しました。  
日頃の練習の成果を発揮し、50m自由形や背泳ぎ、バタフライ、200m個人メドレーなどで力強く泳いでいました。



## 部員一丸となって地区優勝

中体連のオホーツクバレーボール大会が7月15日、16日に網走市で開催され、訓子府中学校バレーボール部が優勝し、7月29日、30日に稚内市で開催される北海道中学校バレーボール大会に出場します。  
地区大会の準決勝では、網走第三・遠軽南・丸瀬布・白滝・女満別・東藻琴の合同チームに2対0、決勝戦では、北見北・東陵・上菅巴・小泉中学校の合同チームに2対1で勝利を収め、全道大会への切符を獲得しました。  
19日には、岩淵大和さん（訓中3年）ら11人の部員が役場を訪れ、菊池町長に「全道大会では、予選を突破して、ベスト4に入れるように練習をがんばります」と力強い意気込みを話していました。



## RUN伴たすきリレーに57人が参加

「RUN伴」のたすきリレーが、7月8日に行われ、認知症の方3人を含めたリレー走者・伴走者の57人がたすきをつなぎました。  
「RUN伴」とは、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりをめざして、認知症の人もそうでない人もみんなでたすきをつないで、日本を縦断するプロジェクトです。  
多くの応援者が沿道に集まり、リレー走者などにたくさんのエールを送っていました。認知症の方たちは一歩一歩、一生懸命歩き、ゴールをめざしていました。



## ご遺族など63人が参列し、戦没者追悼式

平成29年度訓子府町戦没者追悼式が7月15日、忠魂碑前で行われ、ご遺族や関係者63人が参列しました。  
戦没者に対して黙とうを行ったあと、菊池町長の式辞に続いて、参列者一人一人が献花し、英霊を追悼しました。  
訓子府町の戦没者は、ご遺族の所在が不明な方も含めて224柱となっています。また、遺族も町内が100人、町外が97人となっています。  
追悼式が行われた会場にある忠魂碑横の平和記念之碑には、これら戦没者の名前が刻まれており、参列者は、その名前などを見ながら、あらためて手を合わせていました。



## 2件が家族経営協定を締結

「家族経営協定」の調印式が、7月18日に町公民館で行われました。町農業担い手対策推進協議会（清井敏行会長）が主催し、清住の谷本さん一家、福野の武藤さん一家が、それぞれの協定書に調印しました。  
この協定は、農業経営の方針や労働時間、給与などの就業規則、家族の役割分担などの就業環境などを決め、家族仲良く、明るい農業経営を進める目的のものです。  
町内では、今回を含め、5件が協定を結んでいます。

